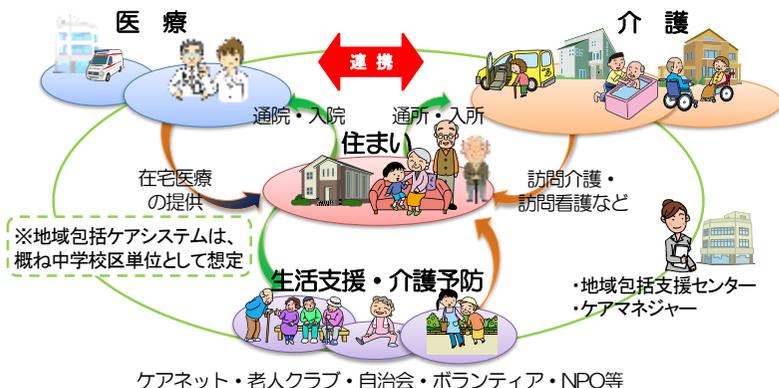


富山県の地域包括ケアシステム構築に向けた取組み

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現

地域包括ケアシステムの姿



—地域包括ケアシステム推進会議—

地域包括ケアシステムの構築を官民一体で推進

H26.6 設置

- 会長: 知事
- 委員: 医療・介護関係、住民団体(老人クラブ、自治会等)、事業者(ライフライン等) 26名

H27.2 共同宣言採択

- 5つの柱
- 1 若い時からの健康づくりと介護予防の実践
- 2 多様な担い手による生活支援体制の構築
- 3 安心できる医療・介護サービス提供体制・高齢者の住まいの確保
- 4 ICTの活用など効率的・効果的なサービスの推進
- 5 官民連携した地域体制づくり、普及啓発

共同宣言の趣旨を踏まえて

—平成29年度の主な取組み—

普及啓発(県民運動)

- 地域包括ケア推進県民フォーラムの開催 H28 11月23日に高岡市にて開催、約400名参加
地域包括ケアについて県民に理解を深めていただくとともに、地域包括ケアシステム構築の気運を醸成
- 地域包括ケア活動実践団体の募集・登録・公表
高齢者を地域で支える活動を拡げるため、生活支援、介護予防等を実践する団体を募集・登録し、HPで公表 登録団体数 H29.2.28 現在:1,801 (任意団体、NPO、民間企業等)
- 地域包括ケア実践顕彰の実施 H27の顕彰受賞団体「小杉爆笑劇団」がH28厚生労働省「健康寿命をのばそう!アワード」を受賞
地域での支え合い活動を積極的に実践されている団体を顕彰



在宅医療・訪問看護の推進

- 在宅医療支援センターの設置・運営
在宅医療に取り組む医師の確保・養成等のため、県在宅医療支援センターを運営、郡市医師会が設置する在宅医療支援センター(10ヶ所)の取組みを支援
- IoT活用による在宅医療の推進 ・開業医グループ数:H21 9か所 ⇒ H28 15か所
・在宅医療従事医師数:H24 288人 ⇒ H27 456人
・訪問看護ステーション数:H24.4 39か所(全国41位) ⇒ H28.4 61か所(全国38位)
Webカメラやセンサー等を活用した在宅医療を実証
- 訪問看護に対する支援
訪問看護ステーションの開設・規模拡大への支援、看護職員の確保・定着のためICTやテレワークの導入支援

認知症への対応

- 認知症を地域で支える体制づくりの推進 認知症初期集中支援チーム H28 累計7市町で設置
市町村との連携による広域見守り体制の整備、人材育成等の実施
- 認知症疾患医療センターの支援 H29年度中 高岡市民病院に認知症疾患医療センター設置(予定)
専門相談、鑑別診断等を行う認知症疾患医療センターの運営を支援
- 若年性認知症の支援 H28.7月 県若年性認知症相談・支援センター開設
就労・福祉サービスの調整等の自立支援、支援者向け研修の実施

市町村の取組み支援

- 介護予防・生活支援の推進
多職種連携による地域ケア会議の立ち上げ支援、住民主体による介護予防の通いの場や生活支援の体制整備等への支援 住民主体による居場所づくり等 H28 累計3市6団体で開始
- 生活支援コーディネーターの養成
地域の生活支援ニーズの把握等を行うコーディネーター養成のため、初任者研修・フォローアップ研修を実施